

あおやま 青山もん!



青山中学校だより

No.11 2024.3月号
発行 青山中学校長



働く = 傍を楽にすること ~生徒の皆さんが実行したこと~

卒業式での「旅立ちの日」の大合唱、3年生と心を合わせたチーム1・2年生の姿に先生たちも喜びました!さて、年度末・年度初めの時期。この時期になると、卒業式・入学式の準備や片付け、学校の大掃除など、いつも以上に「働く」ことが増えます。

チーム1・2年生が、三送会や卒業式の準備・練習に向けて、テキパキ「働く」姿がありました。「働く」とは、「傍を楽にする」という話がある友人が私にしてくれました。また、「傍を楽にする」ということは、働くことで周りの人を「楽しませる」という意味もあるそうです。今回、皆さんが実行したことにピッタリだと思います!



例えば、もし誰かがサボれば、周りの人の仕事が増える



ので楽しくありません。それから「やりたくない」「めんどくさい」などの不平不満が聞こえてくると、周りの人は楽しく働けなくなってしまいます。チーム1・2年生の皆さんの姿はそうではありません。三送会「苦手だけど」「恥ずかしいけど…」チャレンジした人、「私はこれはできないけど…これはがんばってみようかな」と裏方スタッフを引き受けチャレンジした人がいました。

さまざまな役割・それぞれの場面で「働く」皆さんの姿は「傍」から見ていて「楽」しくなりました。「お疲れさまでした!」そして「ありがとうございました!」



青山中学校ホームページ Web(ウェブ)日記で学校の様子などを発信しています。最近「傍から見ていて楽しく」感じた三送会・卒業式までの場面や給食献立など掲載しています。



給食センター夢から卒業生に届いたお祝いメッセージの投稿より⇒

チーム青山2023-24(文化・スポーツ部門)表彰紹介

第43回三重県小中学校書初め展

入選 3年 ★

2年 ★ ★ ★ ★

中勢地区中学校卓球大会 敢闘賞 卓球部 (4月 県チャンピオンシップ出場)

名張市選手権卓球大会 男子の部 優勝 2年 ★



◆ホームページではカラー版を掲載しますが、写真の一部・個人名は掲載しません◆

裏面あり

みらい そつぎょうせい めい そつぎょうしやうしよじゆよしき
未来へはばたけ！ 卒業生54名 卒業証書授与式

「私たち54名が青山中学校で学ぶ最後の日です」-『旅立ちのことば』の中のことばです。式後、ご来賓の方が「ええ卒業式やったなあ。式は静粛に行うものやけど、子どもらのあの言葉聞いたら、合唱聞いたらな、思わず何回も拍手がしたくなってしもたわ」と声をかけてくれました。学校長の式辞の内容を一部抜粋で掲載します。

皆さんがこの日を迎えられるのは、もちろん道をきり拓いた自分の努力の結果ですが、ご家族をはじめ、かかわってきてくれた人々の応援があってこそです。(中略)

皆さんとの合い言葉「チーム青山2023」！

私は皆さんに「お疲れさま」と声をかけていましたが、むしろ皆さんの方が「お疲れさまです」「校長先生。お疲れ～」と声をかけてくれるようになりました。皆さんがその習慣を青山モデルにしてくれたわけです。



修学旅行・笑いが絶えない学年レク。どんな時もあたたかく受けとめ、盛り上げる声、まさにそれぞれちがう役割でさまざまな場面で力を合わせ、一体感を創り上げた様子がとても印象的でした。実はこうしたやりとりは、社会に出て、さまざまな人々との関係づくりで求められる力です。

皆さんは最高学年となり(『楽しむ力』と書いて)『楽力』を発揮しやり遂げました。後輩たちの発表に対する皆さんのあたたかい眼差しや、大きな拍手も頼もしかったです。

日記「みんなのあしあと」の中では皆さんの心の動きがたくさん表現されていました。合唱での場面「『円陣組もー』という声が聞こえた。肩を組んで叫んだとき、私自身『みんながいるから大丈夫』と思えた」クラス一丸を感じた瞬間を綴った人、部活動・接戦を制した試合の場面「ぼくは『本当によかった』と泣きながらチームに言った。チームメイトもみんな泣いていた。プレッシャーに押し潰されそうになったけど、最後まで役目を果たせた」と綴った人がいます。

皆さんは元気が出てくる人権学習を進める中、まさに土台となる「自分を大切にする」そして「他者を大切にする」ことを実行しました。「青中人権の集い」を終え、「『自分に指を向ける』という言葉があった。人生を豊かにするために、もっと自分自身のために学びたい」と綴った人がいます。まさに未来の生活や将来の仕事へのトレーニングを積んできました。

皆さんの姿は、確実に在校生に影響を与えるインフルエンサーとなりました。在校生がそのことをしっかり受けとめ、引き継ごうとする強い意思是「三送会ザ・ムービー」にも表れました。(中略)

卒業生の皆さん、いよいよ旅立ちです。エピソード集の中でこんな一言がありました。「いつも小さなことでも感謝できる自分でありたい。これから忙しくなっていく自分のことばかりになってしまう時があると思うけど、今こうしていられるのはたくさんの人たちが関わってくれたから」と。…「チーム青山」での学びを糧に、自分なりにさらにパワーアップし、アップデートしていきましょう。皆さんの輝かしい未来を祈念して、私のはなむけの言葉といたします。

3月25日に2023年度修了式・離任式を迎えます。保護者の皆さま・地域の皆さまには、本年度、本校の学校教育推進にご理解・ご協力をいただき、たいへんありがとうございます。チーム青山の心強い応援団として2024年度も、どうぞよろしくお願い申し上げます。